

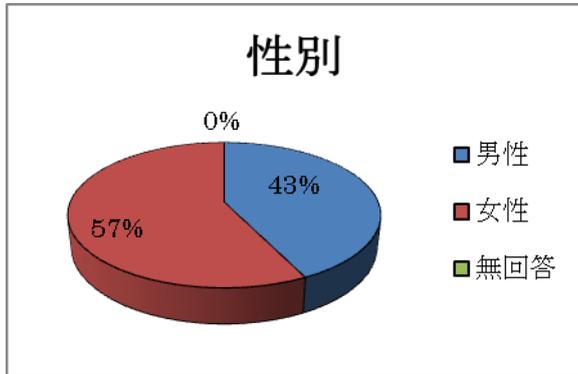
平成25年度宇都宮市民大学前期専門講座

No.	講座名(開講数) (講座コース)	講師	開催 期間	(募集定員) [応募者数] 受講者数	修了者数 (修了率)
1	宇都宮市での地震災害の歴史と防災 ～地震対策について考えてみませんか～ (全8回) 【ふるさと地域学コース】	・宇都宮大学 教育学部 教授 中村 洋一 氏, 教授 伊東 明彦 氏 ・宇都宮大学 工学部 教授 今泉 繁良 氏, 教授 入江 康隆 氏	5/17 ～6/28	(50) [45] 45	32 (71.1%)
2	[宇都宮短期大学連携講座] ミドル世代の心豊かな生活のために ～子育てと介護のはざまの中で～ (全7回) 【今を読み解く現代社会コース】	・宇都宮短期大学 人間福祉学科 助教 勝浦 美智恵 氏, 教授 天野 マキ 氏, 助教 大出 理香 氏, 専任講師 平賀 紀章 氏 ・宇都宮短期大学 音楽科 准教授 崎谷 直 氏, 准教授 山本 久美子 氏	5/18 ～6/29	(30) [7] 7	5 (71.4%)
3	俳句入門講座 ～はじめての五七五～ (全7回) 【暮らしを彩る教養・文化コース】	・俳人協会理事 馬酔木 <sup>あしび</sup> 同人会会長 根岸 善雄 氏 ・俳人協会会員 馬酔木 <sup>あしび</sup> 同人 緑川 啓子 氏	5/16 ～6/20	(50) [57] 51	47 (94.0%)
4	郷土に縁のある作家たち ～ふるさとを語る～ (全8回) 【暮らしを彩る教養・文化コース】	・児童文学作家 高橋 秀雄 氏 ・エッセイスト 志賀 かう子 氏 ・詩人 柴田 健一 氏 ・文筆家 神山 奉子 氏 ・小説家 松本 富生 氏, 水樹 涼子 氏 ・イラストレーター 米倉 万美 氏	5/23 ～7/4	(50) [69] 63	51 (81.0%)
5	生活の中にある『なぜ』 ～みまわすと身のまわり 意外と科学的～ (全9回) 【暮らしを彩る教養・文化コース】	・宇都宮大学 名誉教授 田原 博人 氏 名誉教授 清水 裕子 氏 ・宇都宮大学 教育学部 教授 赤塚 朋子 氏, 准教授 大森 玲子 氏	5/20 ～7/8	(50) [68] 63	50 (79.4%)
6	古里宇都宮の伝統文化探訪 ～祭りにかける人々の情熱をさぐる～ (全7回) 【コミュニケーション学コース】	・宇都宮伝統文化連絡協議会 会長 柏村 祐司 氏, 副会長 池田 貞夫 氏 ・栃木県立博物館 特別研究員 篠崎 茂雄 氏 ・屋台祭り関係者, 屋台所蔵町内関係者のみなさん ・鹿沼いまみや付け祭り屋台保存会 副会長 宇賀神 赳 氏 ・伝馬町自治会・屋台保存会 会長 上野 菊雄 氏	5/14 ～6/18	(50) [80] 75	68 (90.7%)
合 計				(280) [326] 304	253 (83.2%)

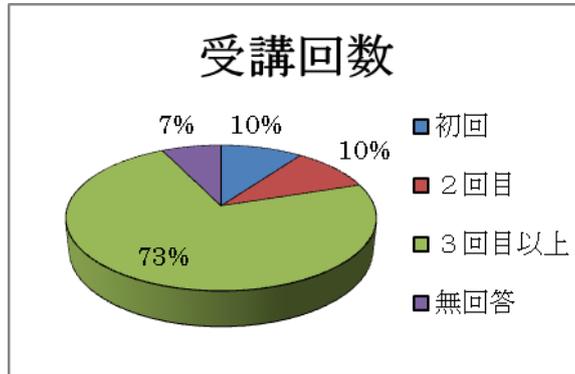
※ ( ) の回数には, 公開講座を含む

# 平成25年度宇都宮市民大学前期専門講座 アンケート集計結果

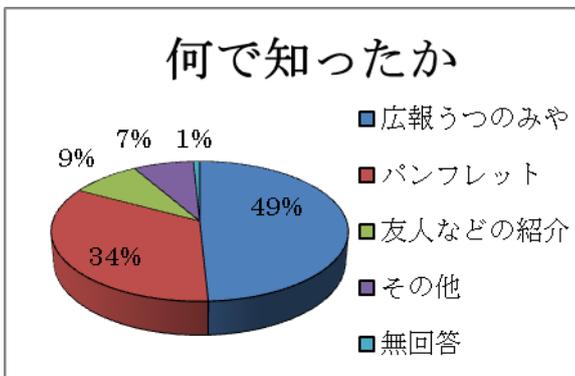
受講者の性別



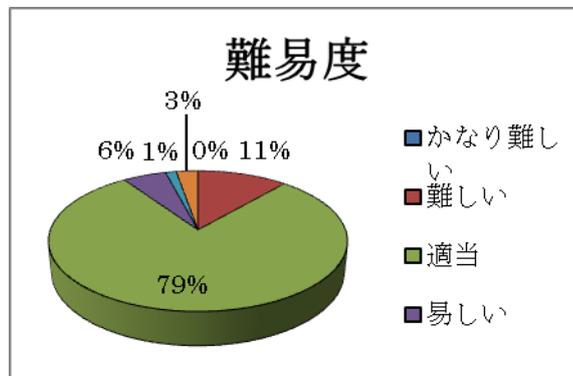
市民大学を受講した回数



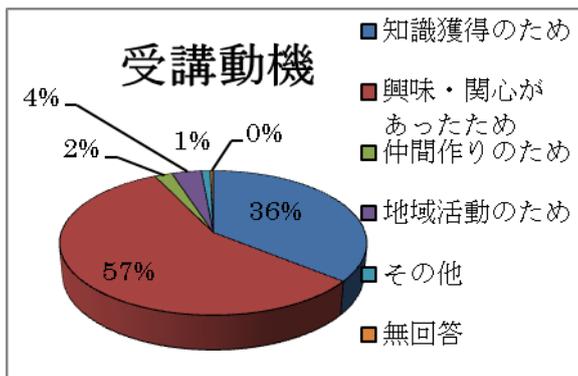
市民大学を何で知ったか



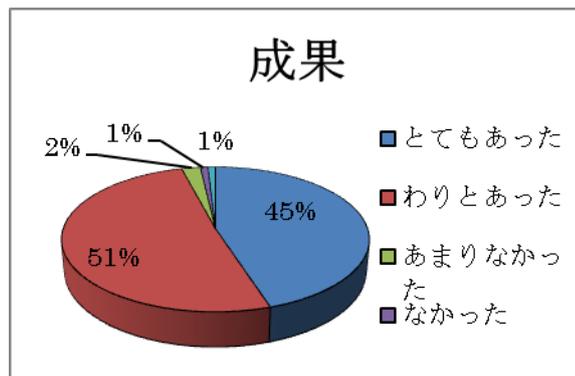
講座内容の難易度



受講動機

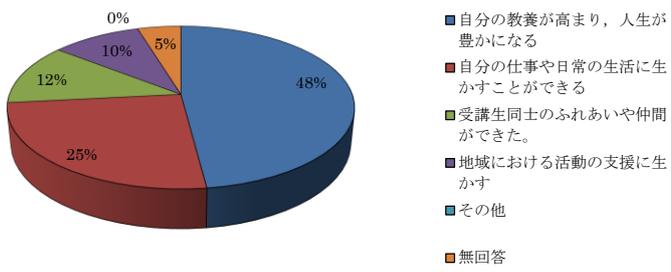


学んだ成果はあったか



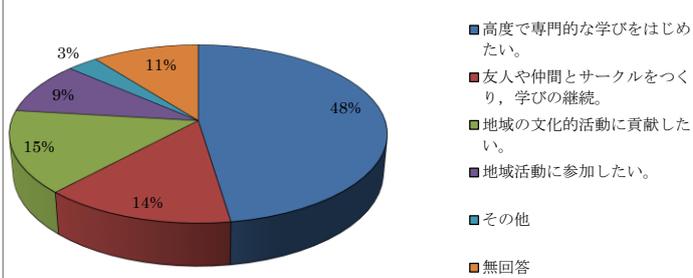
学んだ成果の内容

### 成果の内容



### 学んだ成果を、今後どのように生かしたいか

#### 成果を生かす



## 【受講者の感想・意見（アンケートより抜粋）】

### （前期専門講座① 宇都宮市での地震災害の歴史と防災）

- ・ 災害に対する意識が高まった。
- ・ パネルディスカッションや補足資料など、充実感は200パーセントだった。
- ・ 地震と防災，地域コミュニティーの重要性を考えるきっかけとなった。
- ・ 3人の講師で講座をまわしていたのか，講師の話の焦点がぼけた感じがした。

### （前期専門講座② ミドル世代の心豊かな生活のために）

- ・ 人と人とがつながっていくことの素晴らしさがよく分かった。
- ・ 講座に動き（体験などの動作）があると楽しい。
- ・ 学んだ成果を生かして，自治会の人たちが楽しく過ごせるように活動をスタートしたい。

### （前期専門講座③ 俳句入門講座）

- ・ 吟行や実作など，講義のみでなく新鮮だった。
- ・ 自分の詠んだ句を講評してもらえたのが，大変勉強になった。
- ・ 館外学習で歴史を学ぶことができて，大変有意義だった。
- ・ 俳句の基礎，心構えなどの基本について，時間をさいて欲しかった。

### （前期専門講座④ 郷土に縁のある作家たち）

- ・ 県内の作家に会えたことや詳しい内容も聞くことが出来てとても身近に感じた。
- ・ 作者の創作過程が分かり，おもしろかった。
- ・ 身近なことを取り上げた話だったので，楽しむことができた。
- ・ マイクの音が聞き取れないことが多かった。

### （前期専門講座⑤ 生活の中にある『なぜ』）

- ・ 生活上，役に立ちそう。
- ・ 生活の身近にある問題点にスポットをあててもらって，勉強になった。
- ・ さらに専門的な学びをしたい。（講座をシリーズ化してもらいたい。）
- ・ 講座のテーマより，少し難しく感じた。

### （前期専門講座⑥ 古里宇都宮の伝統文化探訪）

- ・ 身近にふれていた歴史・意味付けを知り，守っていく意義を感じる。
- ・ 子どものころから慣れ親しんだ祭りの持つ意味や目的を知ることができた。
- ・ 伝統文化の素晴らしさを再認識しました。
- ・ もっと掘り下げてほしい。